

「人づくり つながりづくり 地域づくり」の実現を目指して

令和4年度 かがしま県民大学中央センター事業報告書19

かがしまの 生涯学習



はじめに

かごしま県民大学中央センターの令和4年度事業報告書をまとめましたので、ここに報告します。

本センターは、「第3期鹿児島県教育振興基本計画」（平成31年2月策定）に基づき、県民の皆様が生涯を通じて学び活躍できる環境づくりの実現を目指して、「調査・研究」「学習機会の提供」、「学習情報の提供」の視点で事業を行っております。

令和4年度の第11期中央教育審議会生涯学習分科会では、生涯学習・社会教育をめぐる現状から、社会的包摂とその実現を支える地域コミュニティの重要性、そして、社会人の学び直しや国民全体のデジタルリテラシー向上など生涯学習の重要性が課題としてあげられました。そして、課題解決に向けたこれからの生涯学習・社会教育が果たしうる役割として「ウェルビューイング^{※1}の実現」、「社会的包摂^{※2}の実現」、「デジタル社会への対応」「地域コミュニティの基盤」の4点が捉えられました。特にコロナ禍への対応等も踏まえて、GIGAスクール構想推進を始めとした教育分野でのオンライン授業や職業分野でのテレワーク等の増加など、急速なデジタル化が進む状況から、生涯学習・社会教育での適切なデジタル化の在り方やオンライン等の活用による学びの充実、デジタルデバイドの解消などが、喫緊の課題として早急の対応が求められています。

これらに基づき、本年度、本センターでは、単年度事業として「生涯学習・社会教育のDX推進事業」を立ち上げ、デジタル社会に対応した生涯学習環境の高度化、新たな生活様式による生涯学習モデルの企画・開発、デジタル・デバイス解消に向けた市町村等のデジタル人材の育成に取り組みました。

さらに、「学習機会の提供」で、本年度、「生涯学習県民大学講座」にサテライト方式^{※3}を導入するなど、昨年度よりさらに遠隔会議システムの積極的活用を推進しつつ、対面とICT活用のバランスを考慮して様々な形態の講座を展開しました。また、「かごしま青年塾」運営事業においても、一部の講座をYouTube配信し、受講生が受講後に再度視聴できる工夫に挑戦しました。「調査・研究」では、「かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会」のベースとなる企画部会をオンラインで実施した後、協議等がメインとなる本懇談会を対面方式で行うことで、会議の充実を図りました。

このように、本年度も様々な取組を行い、その足跡をここにとりまとめました。本報告書が市町村をはじめ、多くの社会教育関係者の皆さまに活用され、各所での事業推進の一助となれば幸いです。

結びに本報告書の作成に当たり、多大な御尽力、御協力を賜りました関係者並びに各関係機関の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、今後とも本センターの各種事業に、御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年3月

かごしま県民大学中央センター
所 長 下屋敷 由貴子

※1 「個人」の幸せ+ 周囲の「場」のよい状態

※2 誰も排除されず、全員が社会に参画する機会を持つこと

※3 講師がいる会場(メイン)と別会場をオンラインでつないで実施する方式

目 次

はじめに

I	事業体系	1
II	学習機会の提供	2
1	生涯学習県民大学講座	2
2	メディア研修講座	6
3	かごしま青年塾	8
4	かごしま県民大学連携講座	10
5	生涯学習・社会教育のDX推進事業	13
III	学習情報の提供	15
1	学習成果の展示	15
2	情報システムによる情報提供	16
3	学習情報の集約・提供	17
4	生涯学習資料の展示	18
5	「かごしま県民大学『学びの手帳』」推進事業	19
6	生涯学習相談窓口	18
IV	調査・研究	21
1	かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会	21
2	生涯学習に関する調査・研究	23
V	その他	26
	・ 視聴覚サービス	26

※ 次ページ以降の凡例 「中央センター」→かごしま県民大学中央センター
「交流センター」→かごしま県民交流センター

(注) 調査結果等に示す割合は、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%と一致しない場合があります。

I 事業体系

学習機会の提供	学習情報の提供	調査・研究
生涯学習県民大学講座	生涯学習に関する情報誌の発行	生涯学習・社会教育のDX推進事業
生涯学習・社会教育のDX推進事業	生涯学習に関する資料等の展示	かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会
メディア研修講座	生涯学習ふれあい展示	鹿児島県社会教育・生涯学習現状調査
かごしま青年塾		学習プログラムの開発
かごしま県民大学連携講座 とことんまなぶー講座	各大学等における公開講座等	
	情報システムによる情報提供	
	生涯学習相談窓口	
	「学びの手帳」推進事業	
	県視聴覚ライブラリー運営	

(参考) 主催講座の講座数及び受講者数

事業	令和4年度		令和3年度	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数
生涯学習県民大学講座	28 講座	1,140 人	20 講座	515 人
生涯学習・社会教育のDX推進事業	4 講座	50 人		
メディア研修講座	43 講座	2,824 人	39 講座	2,091 人
かごしま青年塾	7 講座	163 人	1 講座	38 人
かごしま県民大学連携講座(とことんまなぶー講座)	7 講座	425 人	5 講座	224 人
合計	89 講座	4,602 人	65 講座	2,868 人

※令和3年度は新型コロナウイルスの影響で、8講座が中止となったが、令和4年度は予定の講座がオンライン開催も含めて全て開催できた。

※令和4年度の「かごしま青年塾」の受講者数については、全7回講座の延べ人数である。(当初塾生43名)

II 学習機会の提供

1 生涯学習県民大学講座

(1) 目的

市町村や大学等と連携して、現代的課題や市町村が抱える課題を解決するための学習機会を提供することにより、市町村の実情に即した生涯学習の振興を支援する。

(2) 実施主体

中央センター及び開催を希望する市町村教育委員会

(3) 内容

現代的課題や市町村が抱える課題の解決に向けた内容
(中央センターと開催市町村教育委員会が協議して決定)

(4) 概要

ア 会場及び講座数

講座開設市町等	市町数	講座数
十島村, 与論町, 大崎町, 錦江町, 日置市, 屋久島町 さつま町, 枕崎市, 志布志市, 奄美市, 天城町, 肝付町	12	24
かごしま県民交流センター	1	4
合 計	13	28

イ 講師

各講座内容に応じた専門家

ウ 講座型式

- (ア) テーマ学習型…1講座90分, 各会場2講座, 講義形式を基本とする講座
- (イ) プロジェクト型…課題解決に向けて, 形式や手法など, 効果的な方法を中央センターと協議しながら一緒に考えていく講座
- (ウ) アドバンス型…先進的でモデル的な内容の講座 (中央センターが企画・運営)

エ 受講者

県民

オ 定員

1講座30人程度 (施設の状況や感染症状況に応じて設定)

カ 受講料

無料

(5) その他

ア 広報・準備及び運営等は市町村教育委員会と中央センターが協働・分担して行う。

イ 講師の旅費及び謝金は県が負担する。

(6) 講座一覧及び受講者数

市町村	内容	講座名	講師(敬称略)	会場	期日	時間	受講者数
十島村	地域活性(まちづくり)	★多様性に富んだ豊かな十島に向けて私たちがやるべきことを考えてみよう	オフィス ピュア ワークショップデザイナー 高崎 恵	十島村役場	6/2 (木)	10:30 ~12:00	35
	教育・子育て(青少年教育)	★心の育て	志學館大学人間関係学部 教授 山喜 高秀			13:30 ~15:00	34
与論町	郷土理解(郷土の歴史)	琉球王国・グスク時代の与論	志學館大学人間関係学部 教授 原口 泉	与論町地域福祉センター	6/11 (土)	15:00 ~16:30	34
	教育・子育て(青少年教育)	思春期の‘こころ’とは? ~親子の良好なコミュニケーションのヒント探し~	志學館大学人間関係学部 助教 野元 明日香			16:45 ~18:15	15
大崎町	教育・子育て(青少年教育)	子どもはのびのび育てよう ~アドラーに学ぶ~	鹿児島純心女子短期大学生生活学科 教授 河野 一典	大崎町中央公民館	7/2 (土)	13:30 ~15:00	36
	教育・子育て(青少年教育)	☆ゲームやスマホにハマる子どもとどう関わるか	志學館大学人間関係学部 准教授 松本 宏明			15:15 ~16:45	56
日置市	教育・子育て(家庭教育)	読み聞かせを楽しむ -絵本の選び方、読み聞かせのコツ-	鹿児島純心女子短期大学生生活学科 准教授 森木 朋佳	日置市中央公民館	8/19 (金)	10:00 ~11:30	38
	郷土理解(郷土の歴史)	日置市の歴史はおもしろか~!!	まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 代表理事 東川 隆太郎			14:00 ~15:30	36
屋久島町	医療・健康(健康維持)	いまからはじめる身体と脳の健康増進	鹿児島大学医学部保健学科 教授 牧迫 飛雄馬	屋久島離島開発総合センター	8/21 (日)	13:30 ~15:00	15
	食生活(食生活の在り方)	屋久島の海は知られざる食材の宝庫	鹿児島大学水産学部 教授 大富 潤			15:10 ~16:40	15
さつま町	地域活性(まちづくり)	☆コロナ禍における地域活性化について	鹿児島大学法文教育学域法文学系 法文学部 准教授 金子 満	虎居地区公民館	9/4 (日)	10:30 ~12:00	54
	食生活(食生活の在り方)	食の視点から考えるSDGs -わたしたちにできること-	鹿児島純心女子短期大学 教授 榎 順子			13:30 ~15:00	13
枕崎市	教育・子育て(青少年教育)	やる気のある子供の学び方と親の関わり	鹿児島純心女子短期大学 教授 今林 俊一	枕崎市市民会館	9/13 (火)	13:00 ~14:30	46
	医療・健康(健康維持)	健康食品~かしこく知って、かしこく元気に~	鹿児島大学理工学域理学系 理工学研究科 准教授 有馬 一成			15:00 ~16:30	17
志布志市	地域活性(まちづくり)	地域資源と多様な人材の活用による地域活性化の取組	垂水市大野地区公民館 元館長 前田 清輝	志布志市文化会館	10/6 (木)	10:00 ~11:30	31
	郷土理解(郷土の歴史)	県民にこそ伝えたい、薩摩切子の歴史と魅力	尚古集成館 学芸員 小平田 史穂			19:00 ~20:20	44
奄美市	教育・子育て(人権教育)	★夜間中学生の“学び”が子供たちに贈る宝物	同志社大学教員養成サポート室 アドバイザー 岡田 敏之	奄美市市役所	10/23 (日)	13:30 ~15:00	25
	教育・子育て(青少年教育)	★SNSとの付き合い方を考える ~臨床心理学の視点から~	鹿児島大学法文学部人文学科 准教授 平田 祐太郎			15:15 ~16:45	23
天城町	地域活性(まちづくり)	★☆「対話」から考える持続可能な地域づくり	鹿児島大学法文教育学域法文学系 法文学部 准教授 酒井 佑輔	天城町立ユイの館	11/17 (木)	10:30 ~12:00	28
	教育・子育て(青少年教育)	★☆地域の力が子どもの力に!「地域資源を活用した子育て支援」	NPO法人子育てふれあいグループ 自然花 代表 大脇 治樹			13:30 ~15:00	20
錦江町	医療・健康(健康維持)	いまからはじめる身体と脳の健康増進	鹿児島大学医学部保健学科 教授 牧迫 飛雄馬	錦江町文化センター	11/26 (土)	10:30 ~12:00	18
	郷土理解(郷土の歴史)	「武の国」だけじゃない薩摩の魅力	尚古集成館 学芸員 小平田 史穂			13:30 ~15:00	15
肝付町	医療・健康(健康維持)	健康寿命延伸のための運動の効果と実践	鹿児島大学スポーツ生命科学系 教授 中垣内 真樹	肝付町文化センター	2/4 (土)	10:30 ~12:00	35
	教育・子育て(青少年教育)	ゲームやスマホにハマる子どもとどう関わるか	志學館大学人間関係学部 准教授 松本 宏明			15:00 ~16:30	381
鹿児島市	共生社会(大人の発達障害)	☆人はそもそも異なっている:発達に凸凹がある人と過ごすコツ	鹿児島大学法文教育学域教育学系 教育学部 教授 肥後 祥治	かごしま県民交流センター	11/13 (日)	13:30 ~15:00	24
	医療・健康	☆新型コロナウイルス感染症の現状とこれからの展望	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 教授 西 順一郎			15:15 ~16:45	18
	対話型ワークショップ 手法とファシリテーションの仕方	効果的な対話型ワークショップの組み立てのコツ(前半)	NPO法人日本ファシリテーション協会 フェロー 加留部 貴行	12/4 (日)	13:00 ~14:30	17	
	効果的な対話型ワークショップの組み立てのコツ(後半)		14:45 ~16:45		17		

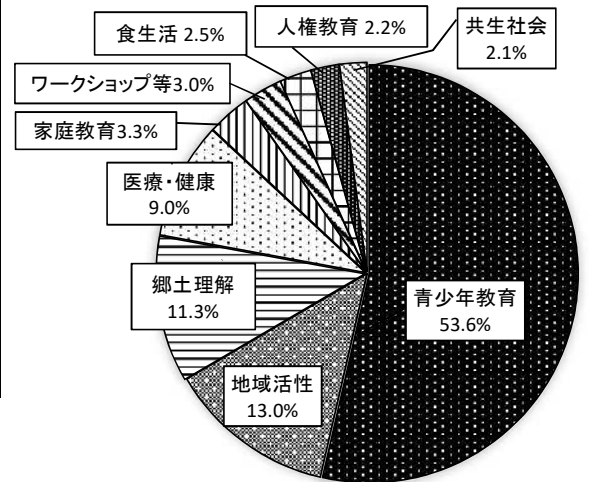
★印の6講座はオンラインで実施。 ☆印の6講座はサテライト講座で実施。

1140

(7) 受講者の状況

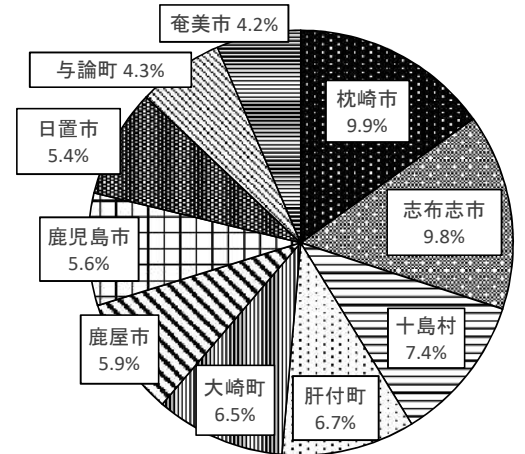
ア テーマ別

テーマ	講座内容の区分	講座数	受講者数 (人)	割合 (%)	受講者数 (人)	割合 (%)
教育・子育て	家庭教育	1	38	3.3	674	59.1
	青少年教育	8	611	53.6		
	人権教育	1	25	2.2		
医療・健康	医療・健康	5	103	9.0	131	11.5
	食生活	2	28	2.5		
地域・郷土	地域活性	4	148	13.0	277	24.3
	郷土理解	4	129	11.3		
その他	ワークショップ等	2	34	3.0	58	5.1
	共生社会	1	24	2.1		
合計		28	1,140	100.0	1,140	100.0



イ 市町村別

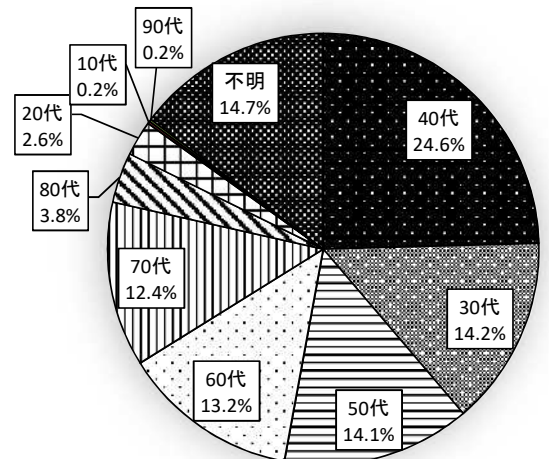
No.	参加者の市町村	合計 (人)	割合 (%)
1	枕崎市	113	9.9%
2	志布志市	112	9.8%
3	十島村	84	7.4%
4	肝付町	76	6.7%
5	大崎町	74	6.5%
6	鹿屋市	67	5.9%
7	鹿児島市	64	5.6%
8	日置市	62	5.4%
9	与論町	49	4.3%
10	奄美市	48	4.2%
11	錦江町	42	3.7%
12	屋久島町	30	2.6%
13	薩摩川内市	25	2.2%
14	天城町	25	2.2%
15	指宿市	22	1.9%
16	曾於市	21	1.8%
17	垂水市	15	1.3%
18	東串良町	13	1.1%
19	知名町	10	0.9%
20	南さつま市	6	0.5%
21	南九州市	5	0.4%
22	南大隅町	4	0.4%
23	いちき串木野市	2	0.2%
24	伊佐市	2	0.2%
25	串良町	2	0.2%
26	始良市	1	0.1%
27	都城市	1	0.1%
28	不明	165	14.5%
合計		1,140	100.0%



(上位10市町村)

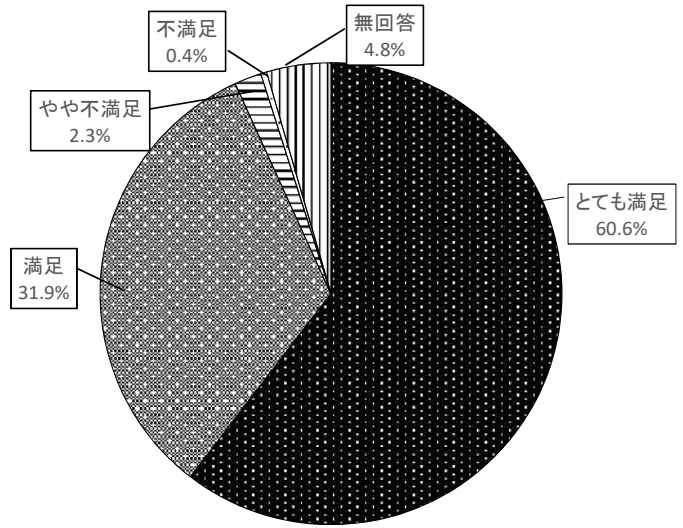
ウ 年代別

年齢	合計 (人)	割合 (%)
10歳未満	0	0.0%
10代	2	0.2%
20代	30	2.6%
30代	162	14.2%
40代	280	24.6%
50代	161	14.1%
60代	151	13.2%
70代	141	12.4%
80歳	43	3.8%
90歳	2	0.2%
不明	168	14.7%
合計	1,140	100.0%



(8) 受講者の満足度

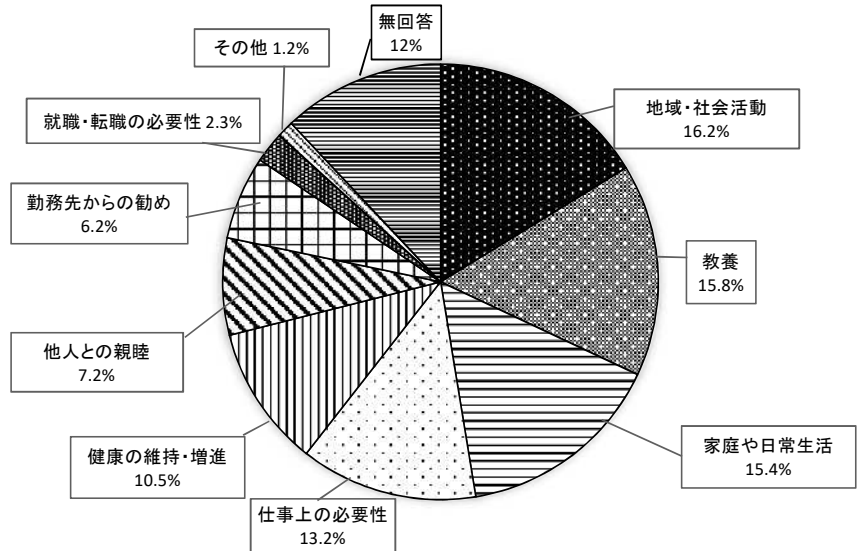
項目	合計(人)	割合(%)
とても満足	444	60.6%
満足	234	31.9%
やや不満足	17	2.3%
不満足	3	0.4%
無回答	35	4.8%
合計	733	100.0%



(9) 受講目的

項目	合計(人)	割合(%)
地域・社会活動	212	16.2
教養	206	15.8
家庭や日常生活	201	15.4
仕事上の必要性	172	13.2
健康の維持・増進	137	10.5
他人との親睦	94	7.2
勤務先からの勧め	81	6.2
就職・転職の必要性	30	2.3
その他	16	1.2
無回答	157	12.0
合計	1,306	100.0

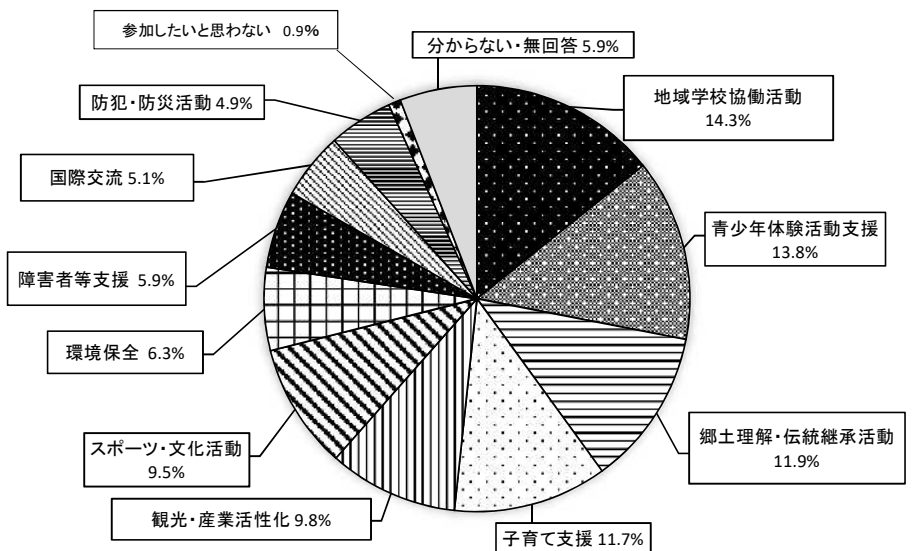
※複数回答による



(10) 受講後に参加したい活動

項目	合計(人)	割合(%)
地域学校協働活動	233	14.3
青少年体験活動支援	226	13.8
郷土理解・伝統継承活動	195	11.9
子育て支援	191	11.7
観光・産業活性化	161	9.8
スポーツ・文化活動	156	9.5
環境保全	103	6.3
障害者等支援	96	5.9
国際交流	83	5.1
防犯・防災活動	80	4.9
参加したいと思わない	15	0.9
分からない・無回答	96	5.9
合計	1,635	100.0

※複数回答による



2 メディア研修講座

(1) 概要

ア 趣 旨

県内市町村等におけるメディア研修の充実及び視聴覚教材の利用促進を図るために、市町村等生涯学習・社会教育関係者等を対象としてICT機器等を使用した研修を行う。市町村等におけるICT機器等を有効に活用できる指導者等を養成するとともに、デジタル・デバインド解消に向けたデジタル人材の育成を通して、ICT機器等を活用した生涯学習を推進する。

イ 対 象

県及び市町村等生涯学習・社会教育関係者等

ウ 場 所

かごしま県民交流センター及び講座依頼のあった関係団体が定める会場

(2) 内容

ア テーマ学習型

中央センターが、現代的課題や市町村が抱える課題の解決に向けてテーマを設定し、講義や演習形式で行う講座。

(ア) 実施状況（6講座）

研修講座名	期 日	主 な 内 容	受講者(人)
第1回「視聴覚教材予約システムの効果的な活用」	5月20日(金)	・視聴覚教材管理システムの利用法 ・著作権、情報モラル、情報セキュリティ	5
第2回、第5回「Web会議システムの効果的な活用(初級編)」	6月24日(金) 11月9日(水)	・Web会議システム「Zoom」の基本的な操作 ・Web会議システム「Zoom」の活用(初級編)	5 3
第3回、第6回「Web会議システムの効果的な活用(中級編)」	7月22日(金) 12月7日(水)	・Web会議システム「Zoom」の応用的な操作 ・Web会議システム「Zoom」の活用(中級編)	6 3
第4回「読みたくなる広報・チラシづくり」	9月16日(金)	・視聴覚機器を活用した情報発信 ・チラシ、キャッチコピー等による情報発信	8
		合計	30

(イ) 受講者の実践・感想等

氏名(敬称略)	受講した講座	講座を生かした実践・感想等
十島村教育委員会 教育総務課 坂元 幸道	第3回「Web会議システムの効果的な活用(中級編)」	講座に参加するために、「オンライン講座」を実施する上で、事前準備と課題を自分なりにイメージして臨みました。講座の中で、パソコン、カメラ、マイク等の配置とそれぞれの役割を学ぶことができました。また、いくつものパターンでの実践例を教えていただいたこともとても参考になりました。わからなくても、一つ一つを楽しみながら乗り越えていくことが、DXを効果的に活用できることを教えていただけた楽しい講座でした。

イ アドバンス型（DX推進）

デジタル・デバインドの解消に積極的な市町村の取組事例を紹介するとともに、市町村における生涯学習・社会教育に関する講座や研修会の効果的な運営のあり方についての講義や演習を行う講座。

(ア) 実施状況（1講座）

研修講座名	期 日	主 な 内 容	受講者(人)
～地域コミュニティにおけるデジタル活用支援へ向けて～ 講師：名古屋大学大学院情報学研究科准教授 浦田 真由 氏	10月14日 (金)	・高齢者のデジタル活用支援・健康増進へ向けたICT利活用 ・健康増進のためのスマートスピーカーアプリの開発 ・デジタル相談会の開催 ・e-スポーツ体験会の開催 ・デジタル支援ボランティアの育成 ・高齢者デジタル機器の利用を支援する担い手の育成	28

(イ) 受講者の実践・感想等

氏名(敬称略)	講座を生かした実践・感想等
大崎町教育委員会 社会教育課 中水流 幸治	名古屋大学の浦田准教授による講演で、インターネット利用促進のための、健康増進を絡めた事例やスマートスピーカーを活用した事例等の紹介があり、非常に興味深い内容で参考となった。また、デジタル支援を目的とした講習会等を行うにあたっては、専門家だけに頼らず「デジタル支援ボランティア」等の地域の人材を育成・活用していく事が、持続可能な支援へとつながる非常に有効な取り組みだと感じました。

ウ サポート型

市町村等におけるICT機器等活用の促進と教育的課題の解決を図るために、市町村等が実施するICT機器活用等に関する研修へ講師や技術支援として中央センターの職員を派遣して行う講座。

(ア) 実施状況 (全36講座 オンライン:25講座)

月	日	サポート市町村(団体)	研修会名称等	オンライン
4	14	県教育庁社会教育課	九州公民館連合会会長会・理事会	○
4	14	県教育庁社会教育課	九州各県生涯学習・社会教育主管部課長会議	○
4	27	鹿児島県議会事務局	写真撮影技術講習会	
4	29	燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局	春「ふれあいプラザ」イベント内で行う「太陽国体出前上映会」	
5	10	県教育庁社会教育課	県公民館連絡協議会第1回理事会・評議員会/第73回九州地区公民館研究大会鹿児島大会第2回実行委員会	○
5	12	県教育庁人権同和教育課	人権同和教育基礎講座の接続テスト①	○
5	28	県教育庁人権同和教育課	人権同和教育基礎講座の接続テスト②	○
6	2	男女共同参画推進課	男女共同参画基礎講座のテスト接続	○
6	8	県教育庁人権同和教育課	鹿児島県人権同和教育基礎講座	○
6	9	鹿屋市P連絡協議会	鹿屋市P連担当役員研修会	
6	16	県教育庁社会教育課	かごしま夢有為塾の接続テスト	○
6	18	県教育庁社会教育課	かごしま夢有為塾結団式	○
6	29	県教育庁社会教育課	社会教育主事等・人権教育指導者研修会の事前接続テスト	○
7	6	県教育庁社会教育課	社会教育主事等・人権教育指導者研修会(8日(金)まで)	○
7	12	薩摩川内市視聴覚ライブラリー	パソコンによるビデオ編集講座	
7	12	県教育庁義務教育課	調査問題等活用委員会	
8	5	大隅地区市町教育委員会	大隅地区教育メディア研修講座	
8	25	県教育庁社会教育課	第73回九州地区公民館研究大会鹿児島大会第3回実行委員会	○
8	31	県教育庁社会教育課	九州地区公民館連合会会長会・理事会	○
9	6	県教育庁義務教育課	調査問題等活用委員会	
9	14	十島村教育委員会	十島村ALTメディア研修会(15日木まで)	
10	1	県立図書館	観音寺潮五郎記念文化講演リハーサル	○
10	5	県教育庁義務教育課	調査問題等活用委員会	
10	7	県教育庁社会教育課	かごしま地域学校協働活動研修会(始良・伊佐会場)	○
10	15	県立図書館	観音寺潮五郎記念文化講演	○
10	16	燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会実行委員会事務局	太陽国体16ミリフィルム上映会	
10	26	県教育庁社会教育課	第73回九州地区公民館研究大会鹿児島大会専門部会	○
10	31	始良市立重富中学校	校内研修「1人1台端末の利活用に向けて」	
11	15	鹿児島市教育委員会生涯学習課	社会学級委員等研修会(後期)事前接続チェック	○
11	22	県教育庁社会教育課	かごしま地域学校協働研修会(鹿児島会場)	○
11	26	鹿児島市教育委員会生涯学習課	社会学級委員等研修会(後期)	○
12	27	出水市教育委員会生涯学習課	「令和5年出水市二十歳のつどい」事前接続チェック	○
1	5	出水市教育委員会生涯学習課	「令和5年出水市二十歳のつどい」	○
1	11	県教育庁社会教育課	県子供読書活動推進会議	○
2	8	県教育庁社会教育課	県公民館連絡協議会第2回理事会/第73回九州地区公民館研究大会鹿児島大会第4回実行委員会	○
2	18	県教育庁社会教育課	「かごしま夢有為塾」まとめの会	○

(イ) 成果と課題 (○…成果 課題…▲)

- 本県の生涯学習推進の拠点として、本センターのICT機器やネットワーク環境の整備を行ったことで、技術支援の幅が広がり多くのオンライン講座等を実施することができた。
- 市町村等からWeb会議を利用した様々なサポート依頼を受け、市町村等の職員と共にオンラインの仕組みを理解しながら技術支援を行うことで、デジタルデバイド解消や職員のスキルアップにつながった。
- ▲ 市町村等では、Web会議を利用した講座を実施する際に、現在あるICT機器を最大限利活用しているが、新たに機器を借用したり購入したりしなければならない状況にある。今後も本センター職員と連携を図りながら、デジタルデバイス解消に向けた取組を継続的に行っていく必要がある。

3 かがしま青年塾

(1) 目的

これからの鹿児島を担う青年層を対象に、各界で活躍する経営者やリーダー等との交流や現地での研修等を行い、次世代かごしまの地域を支えるリーダーを育成する。

(2) 対象者及び定員

学生，社会人で，原則毎回参加できる県内在住の人（18歳～35歳程度）30人程度（先着順）

(3) 期日及び会場

令和4年6月～令和4年12月（月1回程度，原則日曜日に実施）

かごしま県民交流センター，県内各地

(4) 事業内容

特別講演，基調講演，現地研修，交流会等

(5) 受講料

無料（但し，保険料等の必要経費は実費負担）

(6) 塾生

43人（学生18人 社会人25人）

(7) 塾生の感想

- ・ 関わることでできない方々の話を聞いたり，交流したりするのが非常に楽しかった。そして，その中で新しい発見があり，今後の自分のためになった青年塾であった。
- ・ 講師の方々の講演に生きていくためのヒントがたくさんあり，視野を広げ，見識を深めることに繋がった。講師の方々の言葉を胸に，今後リーダーとなる場面があれば活かしていきたい。
- ・ たくさんの方と交流することが目標であったが，グループワークで塾生同士，夢や課題を語り合う中で，様々なものの見方や考え方を知ることができ，自分の考え方もより深めることができた。
- ・ 様々な分野，特に自分が元々関心のない分野の話を聞くことで新たなインスピレーションを得ることができたので，「広い視野を持ちたい」という第一目標はしっかり達成できた。
- ・ 青年塾に参加する前と今を比べて，考え方や価値観など，様々な気づきがあり，成長できたように感じる。今後，大いに活躍していきたい。

(8) 活動の様子



特別講演



交流会



閉講式

(9) 実績

活動等		日時等	主な内容・講師等
第一回	◇開講式 ◇基調講演 ◇オリエンテーション I・II	6月26日(日) 12:50~16:50 交流センター	◆オリエンテーション I (事業概要説明等) ◆開講式 知事あいさつ ◆基調講演 講師: 島津 公保 株式会社島津興業取締役相談役 演題: 「歴史は地域の資源~歴史を学び、歴史を活かす~」 ◆オリエンテーション II (自己紹介・ワークショップ等)
第二回	◇現地研修 (鹿児島・始良方面)	7月24日(日) 10:00~17:00 鹿児島市1社 始良市1社	◆鹿児島の特性を生かした魅力ある県内事業所訪問 株式会社島津興業(仙巖園・尚古集成館) 講師: 久保 誠 株式会社島津興業人事総務課次長 岩川 拓夫 株式会社島津興業文化事業部課長代理 龍門司焼次郎太窯 講師: 川原 輝夫 龍門司焼次郎太窯12代陶工
第三回	◇特別講演 I ◇ワークショップ	8月28日(日) 13:00~16:10 交流センター	◆特別講演 講師: 岩元 美智彦 株式会社JEPLAN取締役執行役員会長 演題: 「みんな参加型の循環型社会形成への挑戦」 ◆ワークショップ(意見交換)
第四回	◇現地研修 (大隅方面)	9月24日(土) 8:45~17:15 大崎町1社 鹿屋市1社	◆鹿児島の特性を生かした魅力ある県内事業所訪問 有限会社泰正養鰻(大崎町) 講師: 横山 桂一 有限会社泰正養鰻代表取締役 有限会社ふくどめ小牧場(鹿屋市) 講師: 福留 洋一 ふくどめ小牧場取締役
第五回	◇特別講演 II ◇ワークショップ	10月30日(日) 13:00~16:10 交流センター	◆特別講演 講師: 軸屋 麻衣子 軸屋酒造株式会社代表取締役社長 演題: 「本格焼酎の世界に生きること」 ◆ワークショップ(意見交換)
第六回	◇交流会	11月27日(日) 13:00~17:00 交流センター	◆県内事業所等の若手リーダーの先進事例発表 ◆県内若手リーダーとの意見交換 講師: 東川 隆太郎 NPO法人まちづくり地域フォーラム・ かごしま探検の会代表理事 本田 静 株式会社宙の駅代表 蔵元 恵佑 株式会社オコソコ代表取締役
第七回	◇特別講演 III ◇開講式 ◇ふりかえり まとめ	12月18日(日) 13:00~17:00 交流センター	◆特別講演 講師: 田瀬 和夫 SDGパートナーズ有限会社代表取締役CEO 演題: 「SDGsとプラスサム資本主義」 ◆閉講式 塾生代表あいさつ 知事あいさつ ◆ふりかえり・まとめ 写真でふりかえるかごしま青年塾

※ 第4回青年塾は、当初【宿泊研修・現地研修(大隅方面)】を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から宿泊研修を中止し、現地研修のみを実施した。

4 かがしま県民大学連携講座

(1) 目的

県民の多様化・高度化する生涯学習ニーズに応えるため、大学等などの教育機関、市町村等公的機関、民間の団体等と連携して公開講座等を実施する。

(2) 事業概要

ア 講座名

かがしま県民大学連携講座

(うち、交流センター内で実施する講座は「かがしま県民大学とことんまなぶー講座」という。)

(7) かがしま県民大学連携講座(交流センター外で各大学等において開催される講座)

中央センターの役割・・・講座情報を集約しホームページ等で広く広報する

【令和4年度実施】

大学等	7校(58講座)
-----	----------

(1) かがしま県民大学とことんまなぶー講座(交流センター内で開催される講座)

中央センターの役割・・・会場確保や講座運営の支援等 ※詳細は下記

【令和4年度実施】

大学等	3校(3講座11回)	その他の団体	4団体(4講座12回)
-----	------------	--------	-------------

イ 対象

県民

ウ 講座内容

現代的課題等に基づく内容等

(3) かがしま県民大学とことんまなぶー講座(以下「とことんまなぶー講座」)について(詳細)

ア 実施主体

中央センターと、とことんまなぶー講座を実施する団体等(以下「実施団体等」。)との共催

イ 連携可能な機関・団体等

(7) 大学等(大学・短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校)

(1) 行政機関等(国・県・市町村及び公益財団法人等)

(9) 企業・民間等(鹿児島県内に主たる事務所を有する企業・民間教育団体)

(5) NPO法人等(鹿児島県内に主たる事務所を有する生涯学習の推進に資するNPO法人)

(8) その他、生涯学習の推進に資すると中央センターが認める団体等(自主グループ等)

ウ 講座内容

広く県民を対象とした講座で、次の事項を全て満たすこと

(7) 次の項目のいずれかに該当するものであること。

- ・ 県民の多様化・高度化するニーズや現代的課題に関する内容
- ・ 独自性・専門性を生かした高度で専門的な内容
- ・ 中央センターが必要と認める内容

(1) 次の項目のいずれにも該当しないものであること。

- ・ 営利を目的とする内容を含むもの(営利事業の広報、人材や物品購入の勧誘を含む。)
- ・ 特定の政党、宗教、宗派の利害を目的とした内容を含むもの
- ・ 公序良俗に反する内容を含むもの
- ・ 公演(演奏会、演劇等)に類するもの

エ 講座数

1団体等当たり1講座(1講座の実施回数は5回以内)

※ 大学等については、1学科当たり1講座

オ 「とことまなぶ一講座」の実績

	実施団体等名 (問合せ先)	講座名・講座内容	期日	回数	定員	受講者数	
1	鹿屋体育大学 (0994-46-4819)	健康づくり・介護予防講座 座歩く脳トレ運動 ～スクエアステップ～	スクエアステップの効果(講義)体験(実技)	9月 29 日(木)	3	各 30	74
			スクエアステップ初級編	10月 13 日(木)			
			スクエアステップ上級編	10月 20 日(木)			
2	第一工科大学 (0995-45-0640)	量子コンピュータによる変革	量子の性質と量子コンピュータ	10月 22 日(土)	3	各 20	28
			量子コンピュータが変える未来	11月 26 日(土)			
			量子コンピュータの課題と展望	12月 24 日(土)			
3	鹿児島純心女子短期大学(江角学びの交流センター) (099-253-2677)	シルバー世代のための健康・教養講座	奥深い人生論	7月 9 日(土)	5	各 30	152
			健康寿命を延ばす運動	7月 16 日(土)			
			気をつけたい食事の習慣	7月 30 日(土)			
			ゴッホの人生および作品論	8月 27 日(土)			
			郷土が誇る大島紬を使った小物作り	9月 3 日(土)			
4	韻天流天吹塾 (099-256-1094)	さつまの伝統楽器天吹を自作し天吹の音色を楽しむ	天吹製作	5月 25 日(水)	5	各 15	80
			音を出す	6月 8 日(水)			
			ドレミの練習	6月 29 日(水)			
			簡単な曲を吹く	7月 13 日(水)			
			自分の好きな曲を吹く	7月 27 日(水)			
5	ゴッタン成音会 (0995-42-1598)	ゴッタンを弾こう！ 唄おう！	鹿児島おはら節	10月 8 日(土)	5	各 20	43
			一かけ二かけ	10月 22 日(土)			
			茶わん虫の歌	11月 5 日(土)			
			鹿児島ハンヤ節	11月 26 日(土)			
			鹿児島角力取節	12月 10 日(土)			
6	鹿児島県マルチメディア教育研究会 (0995-26-0047)	メディア教育セミナー2022	メディア教育セミナー2022	8月 9 日(火)	1	50	31
7	鹿児島県視聴覚教育研究協議会 (099-268-2052)	令和4年度鹿児島県放送教育・情報教育研究セミナー	放送教育鹿児島県研修会	2月10日(金)	1	30	17
【講座合計】 7 講座 23 回 受講者総数 425 人							

カ 成果と課題

(7) 成果

- ・ 認知機能の維持についての運動の効果や運動方法を理解する機会となった。県民にスクエアステップを知ってもらう機会にもなった。(鹿屋体育大学)
- ・ 何よりの成果は受講生の数が昨年比大幅に増え、定員を満了したことである。コロナ禍による行動制限が撤廃されたことも大きく、昨年のような中止・延期ということもなかった。
- ・ 健康と教養を組み合わせた内容も例年通りバランスを取った。宮沢賢治、ゴッホといった具体的なテーマの方が受講生を増やすとわかった。大島紬という本県の伝統工芸を使った小物づくり(お土産)も受講生の関心を惹きつけたと考えられる。講座終了後も質問に来られる熱心な受講生もいて、充実感が残った。(鹿児島純心女子短期大学)
- ・ 初参加の方々は始めて天吹を知り、自分の笛を手にした時の大変な驚きと嬉しさを感じられた。このさつまの古い楽器が吹けるようにと毎回熱心に練習に取り組んでいただきました。毎回7~8人もの指導アシスタントの方々の指導力に大変大きな天吹に対する熱意を感じました。(韻天流天吹塾)
- ・ 初めてゴッタンを持った方々がかっこよく構えて板についてきました。少しでも鹿児島の民謡を知っていただけてよかったです。(ゴッタン成音会)
- ・ 「NHK for School」の内にある番組や動画クリップ、デジタルコンテンツの効果的な活用法について知ることができた。(鹿児島県視聴覚教育研究協議会)
- ・ NHK教育番組「カテイカ」の番組構成や制作側の意図、具体的な授業プランについて知ることができた。(鹿児島県視聴覚教育研究協議会)
- ・ オンラインでの参加も募集したことで離島からの参加者も多かった。(鹿児島県視聴覚教育研究協議会)

(8) 課題

- ・ 高齢者の介護予防の運動としてスクエアステップ等のような健康運動をもっと普及させることが必要であり、それが地元鹿屋体育大学の役割であると感じられた。参加者から普及させて欲しいとの要望も聞かれた。
- ・ 県内教職員のニーズにあった内容を追求していく。(鹿児島純心女子短期大学)
- ・ 講演のみではなく、実技を伴った研修も考えていく。(鹿児島純心女子短期大学)
- ・ 5回の講座でマスターすることは困難な面がありましたが、多くの方々から、自分の天吹を手にした以上練習を続けられないのかの希望が出されましたので現在活動している吉野公園など韻天流天吹塾の練習会などを紹介して回りました。今後も講座が継続できることを願っています。(韻天流天吹塾)
- ・ 今回は5回のゴッタンの練習でしたが、数的に少なくもう少し練習の回数が増えればよいと思いました。(ゴッタン成音会)
- ・ 県内教職員のニーズにあった内容を追求していく。(鹿児島県視聴覚教育研究協議会)
- ・ 講演のみではなく、実技を伴った研修も考えていく。(鹿児島県視聴覚教育研究協議会)

キ 講座の様子



鹿屋体育大学「スクエアステップ」



鹿児島純心女子短期大学
「郷土が誇る大島紬を使った小物作り」



ゴッタン成音会「ゴッタン演奏」

5 生涯学習・社会教育のDX推進事業

(1) 内容

ア デジタル社会に対応した生涯学習環境の高度化

- (ア) ICT機器等の整備
- (イ) ネットワーク環境の整備
- (ウ) 市町村等、大学等を結ぶ本県のプラットフォームの整備

イ 新たな生活様式による生涯学習モデルの企画・開発

- (ア) デジタル化に対応したオンライン講座の企画、開発、運営
- (イ) オンデマンド配信のためのコンテンツ（教材）作成
- (ウ) 16ミリフィルム等のデジタル化

ウ デジタル・デバインド解消に向けた市町村等のデジタル人材の育成

- (ア) 市町村等の社会教育・生涯学習担当者対象の講座の実施
- (イ) 市町村等におけるデジタル・デバインド解消のための講座運営サポート



(2) 目的

ア Web会議システムの活用やオンデマンド配信による講座の実施など、ネットワーク社会に対応した生涯学習環境の高度化を推進すること。

イ 学ぶ意欲があるにもかかわらず、離島・へき地などの地理的制約、子育て世代や高齢者など交通手段や移動等の時間的制約のために生涯学習の機会が十分に得られない現状がある。単にICTの利活用によるデジタル化ではなく、生涯学習モデル自体を変革していく「デジタルトランスフォーメーション（DX）」を推進することで、時間的・空間的な制約を超えた学びなど、新しい技術を活用した様々な学びの在り方を可能にすること。

ウ 社会におけるデジタル化が進展する中において、誰一人取り残さず、県民が、デジタル化の恩恵を享受できるよう、デジタル・デバインド（情報格差）の解消に向けた生涯学習、社会教育における取組を推進すること。

(3) 市町村等におけるデジタル・デバインド解消のための講座運営サポート講座

ア 対象者

市町村等生涯学習・社会教育関係者等

イ 実施状況

実施日	時間	場所	受講者(人)
5月18日(水)	13:30～16:00	志布志市文化会館集会室1	10
8月10日(水)	13:00～15:30	西之表市民会館301会議室	10
9月28日(水)	13:30～16:00	長島町文化ホールコミュニティー・ルーム	13
12月21日(水)	13:30～16:00	ふれあいプラザなのはな館会議室1・2	17

ウ 内容

- (ア) オンライン講座をはじめめるために必要となる環境、機器に関する事
- (イ) Web会議システム（Zoom）の操作方法に関する事
- (ウ) オンラインによる講座の企画・運営に関する事
- (エ) 講座のYouTubeライブ配信のノウハウに関する事
- (オ) 著作権に関する事
- (カ) Zoom使用料及びYouTube配信の開設利用に関する必要な予算措置について

エ 成果

(7) 機器等の整備

市町村等への支援を更に充実したものにするため、本年度に新たに機器等を整備し、様々な状況に対応できるようにした。整備した主な機器等は以下のとおり。

- ・ノートパソコン
- ・タブレット型パソコン
- ・モバイルルーター
- ・プロジェクター
- ・ストリーミングスイッチャー
- ・ビデオキャプチャー
- ・Web 会議システム（Zoom）のライセンス契約

(i) Web 会議システムの操作

市町村等への講座や支援充実のため、本センターで操作マニュアルを作成した。

(9) ライブ配信

ライブ配信やアーカイブ配信の支援充実のため、操作に関する内容を整理した。

- ・YouTube ライブ配信（直接配信，Zoom への紐付け，「OBS Studio」の活用）
- ・「OBS Studio」のオリジナル配信画面（シーン）設定方法

(i) 運営方法

ライブ配信，対面とライブ配信のハイブリッドそれぞれに対応できるように，昨年度に引き続き，実施形態やそれにとまなう機器接続の構成及び環境の整理を行った。

当日のスムーズな進行のためのリハーサルの環境や内容の整理を行った。

(k) 講座全体

機器の整備により，3 会場は 1 人 1 端末を使用して，実際に演習を行うことができた。また，Web 会議システム（Zoom）の 10 ライセンスを使用しホストとしての設定を行うことができた。

周辺自治体の参加により，自治体同士の繋がりもできた。

(k) 受講者の感想

- ・生涯学習を推進するためにオンライン環境を整備することが急務であると感じた。
- ・実際に操作しながらの研修で分かりやすかった。
- ・著作権のことなど，どこを調べれば良いのか分からなかったのので，関係機関のリストや二次元コードがありがたかった。

オ 課題

(7) 講座の参加者の理解度やニーズが異なり，時間の配分が難しかった。

(i) モバイルルーターで講座における通信を行ったが，実施する会場の通信環境により，途切れることがあった。事前にチェックすることが難しい。

カ 改善

(7) 講座の内容を精査し，演習の時間をしっかり確保できるよう設計する。また，講座の内容は受講者に具体的に示し，ニーズに合うような形で進めていく。

(i) 参加者の理解度を把握しながら進められる講座設計をする。

(9) それぞれの自治体にある機器を把握するためにリストを作成し，それらの機器を講座に持ってきてもらい，演習でセッティングを行うなど更に実態に即した内容を考えていきたい。

Ⅲ 学習情報の提供

1 学習成果の展示

かごしま県民大学「生涯学習ふれあい展示」の実施

(1) 趣旨

県民が生涯学習として取り組んでいる創作・文化活動の成果を発表する場及び市町村等の体験活動などの各種情報を提供するとともに、生涯学習に取り組む団体・個人の交流を促進し、本県の生涯学習のより一層の振興を図る。

(2) 実施及び会場

年2回：かごしま県民交流センター ギャラリー第1(6階)

特別展：かごしま県民交流センター展示ロビー(2階)

(3) 令和4年度実施期間・参加団体一覧

期日		実施団体名		所属市町村等	展示内容
第1回	設営日 6月10日(金) 展示期間 6月11日(土) ~ 6月19日(日)	1	城西写友会	鹿児島市	写真
		2	上之園紀子・押花・花クラフト教室	鹿児島市	押花, グラスアート, 花クラフト
		3	放送大学鹿児島学習センター	国	パネル, ほか
		4	国立大隅青少年自然の家	国	パネル/クラフト
		5	県立青少年研修センター	鹿児島県	パネル, クラフト
第2回	設営日 10月14日(金) 展示期間 10月15日(土) ~ 10月23日(日)	6	武岡デジカメ同好会	鹿児島市	写真
		7	ゆかいなアート仲間 <small>(精神保健福祉ボランティアサークルゆめの実)</small>	鹿児島市	絵画, 手芸品等
		8	布恋人(フレンド)	鹿児島市	布作品, 絵画等
		9	県立南薩少年自然の家	鹿児島県	パネル, クラフト
特別展	設営日 11月13日(金) 展示期間 1月14日(土) ~ 1月22日(日)	10	薩摩川内市教育委員会上甕島教育課 (トンボロ芸術村コンテスト入賞作品展)	薩摩川内市	写真, 絵画, 書道, 俳句

2 情報システムによる情報提供

(1) 趣旨

県内市町村等における生涯学習の推進を図るために、生涯学習や本センターの各機能に関する情報をデータベース化しインターネットを通じて県内市町村等に提供する。

(2) 情報提供の内容

ア 視聴覚ライブラリー情報

(7) 提供方法

- ・ 図書視聴覚資料検索システム
- ・ 視聴覚ライブラリー予約管理システム

(イ) 概要

図書視聴覚資料検索システムで視聴覚教材の最新の貸出状況の確認を行い教材の貸出が可能な場合は、視聴覚ライブラリー予約管理システムで予約できる。

(ウ) 情報提供の対象

「かごしま県民交流センター情報システム管理運営規程」に基づき、本センターが視聴覚教材利用団体として登録している次の機関

- ・ 県の機関（県庁各課，出先機関，県立学校等）
- ・ 市町村の機関（各課，公民館，市町村立学校，地域視聴覚ライブラリー等）

(エ) 視聴覚ライブラリー教材数（令和5年3月末日現在）

- ・ 16ミリフィルム 1,326本
- ・ ビデオ・DVD 2,951本

イ 指導者・講師情報

(7) 提供方法

かごしま県民大学中央センターホームページ

(イ) 概要

本センターが生涯学習等に係る講座の指導者・講師等の情報をデータベース化し、県内市町村等における生涯学習の推進を図ることを目的として市町村等に情報を提供する。

(ウ) 情報提供の対象

- ・ 市町村教育委員会等の生涯学習・社会教育関係機関
- ・ 県教育庁各課・出先機関・教育機関等

(エ) 登録者・登録機関数（令和5年3月末日現在）

- ・ 登録者数 30人
- ・ 登録機関 4機関

ウ かごしま映像百科デジタルコンテンツ

(7) 提供方法

かごしま県民大学中央センターYouTubeチャンネル

(イ) 概要

鹿児島県内の自然や文化について、平成7年度～12年度にかけてビデオに収録した映像を本センターでデジタルコンテンツ化したもの

(ウ) デジタルコンテンツ数（令和5年3月末日現在）

431本

3 学習情報の集約・提供

中央センターでは、本センターの事業や取組だけでなく、市町村や大学等及びかごしま文化ゾーン施設等が実施する事業の内容等を集約し、情報を提供している。メールマガジンは各市町村教育委員会や教育機関等に配信し、刊行物は交流センターに配架し、ホームページ等に掲載している。

(1) 「生涯学習だより」の発行

県内の生涯学習振興に寄与し、更に県民に必要とされる機関となることを目指して、中央センターの取組を市町村や県民に周知する。

A4判2ページ両面、年6回、奇数月の発行。



(2) 「生涯学習講座情報」の発行

県民への生涯学習情報提供の一助となるよう、中央センターが主催・連携して実施する講座等を月毎にまとめたもの。A4判2ページ両面、年5回発行。実施する月ごとの講座数により、発行月は不定期としながら内容の充実を図った。

(3) 「生涯学習講座案内」の発行

中央センターが主催・連携して実施する講座や、交流センター内施設及びかごしま文化ゾーン施設が実施する各種講座、県内市町村が実施する講座等を紹介するため、大学等や市町村、関係団体から生涯学習情報を収集し、まとめたもの。A4判、両面32ページ



(4) 「メールマガジン」の配信

ア 趣旨

かごしま県民大学中央センターから講座情報や国の動向等に関する情報、各市町村のモデル的事業の紹介等に関するメールマガジンを発行し、中央センターと各市町村等、更には各市町村同士の恒常的・継続的なつながりをつくることで、本県の生涯学習行政ネットワークを構築する。

イ 発行日と回数

毎月末日 月1回 発行

ウ 配信対象

市町村教育委員会(43)、県教育庁社会教育課(1)、教育事務所(7)、教育機関(10)

エ 内容

- (7) 本センター講座情報等
- (1) 本県の生涯学習行政等
 - ・ 市町村におけるモデル的事業の紹介
 - ・ 市町村メディア研修支援
- (7) 国の動向等
- (1) 市町村から広報希望の募集 等

4 生涯学習資料の展示

(1) 趣旨

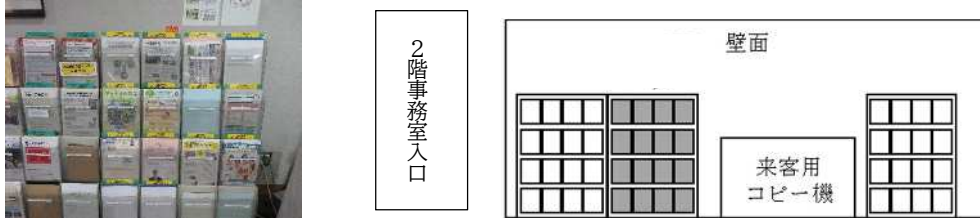
中央センターは、本県の生涯学習の促進等の中核的な施設として、県、市町村民間教育機関、企業の生涯学習に関する情報（チラシ・パンフレット等）の提供及び展示を行う。

(2) 場所

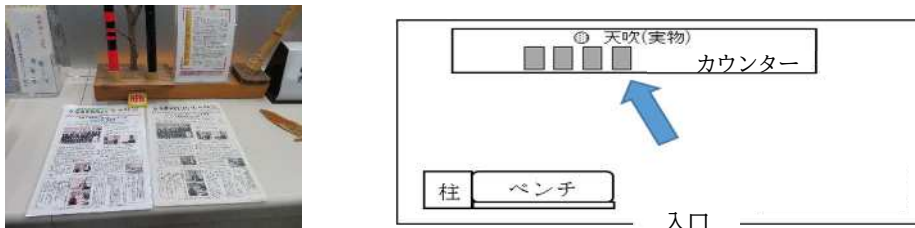
交流センター2階事務室の入口・カウンター、2階情報コーナー・通路壁面、6階情報サロン

(3) 生涯学習資料展示の様子

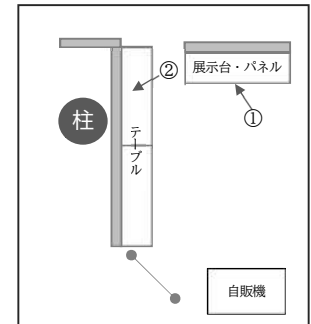
ア 2階事務室入口（主催事業資料、公的な関連事業、関係団体等資料）



イ 2階事務室カウンター（主催事業資料、講座情報、生涯学習だより、薩摩伝統楽器「天吹」等）



ウ 2階情報コーナー（展示台・テーブルやパネル等を活用して全国及び生涯学習関連事業、中央センターポスター等を展示①～②）



エ 2階通路壁面

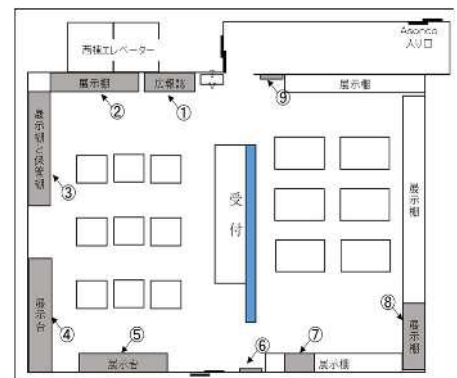


※2階学習コーナー横の利用者の多い通路の壁面に、中央センターの務内容を説明したパネル（B2判7枚と「生涯学習だより」（A1判）4枚を掲示

オ 6階情報サロン



※43市町村の最新の広報誌を配架するとともにバックナンバーは過去1年分を保管し、県民が自由に閲覧できるようにしている。(①～③, ⑧)



5 「かごしま県民大学『学びの手帳』」推進事業

(1) 概要等

ア 目的

生きがいや心の豊かさを求めて、いつでも、どこでも、だれでも、希望する内容と方法で、気軽に学べるようなシステムづくりが必要になっている。

このため、県や市町村等の主催する生涯学習講座の学習機会を県民へ効果的に提供するとともに、その学習者が個々の学習歴を確認したり、学習成果を幅広く生かしたりしていくことを目的とする。

イ 概要

中央センターが中心となり、県民の生涯にわたる学習活動を支援し、より学びやすい環境を整備するため、県・市町村・大学等教育機関等と連携して講座，研修等を提供するなど県民の学びを応援し、学習履歴を記録する「学びの手帳」及び「講座案内」を作成して希望者へ配布する。

(7) 「学びの手帳」とは

「学びの手帳」（A5判）は、講座や研修会等を受講した際に、その学びの足跡を自分自身で記録していくためのものである。

(4) 入手方法

「学びの手帳」は、県民交流センターや市町村の生涯学習施設・教育機関等に置いてあり、県民の方なら誰でも入手し利用できる。（無料・年齢不問）

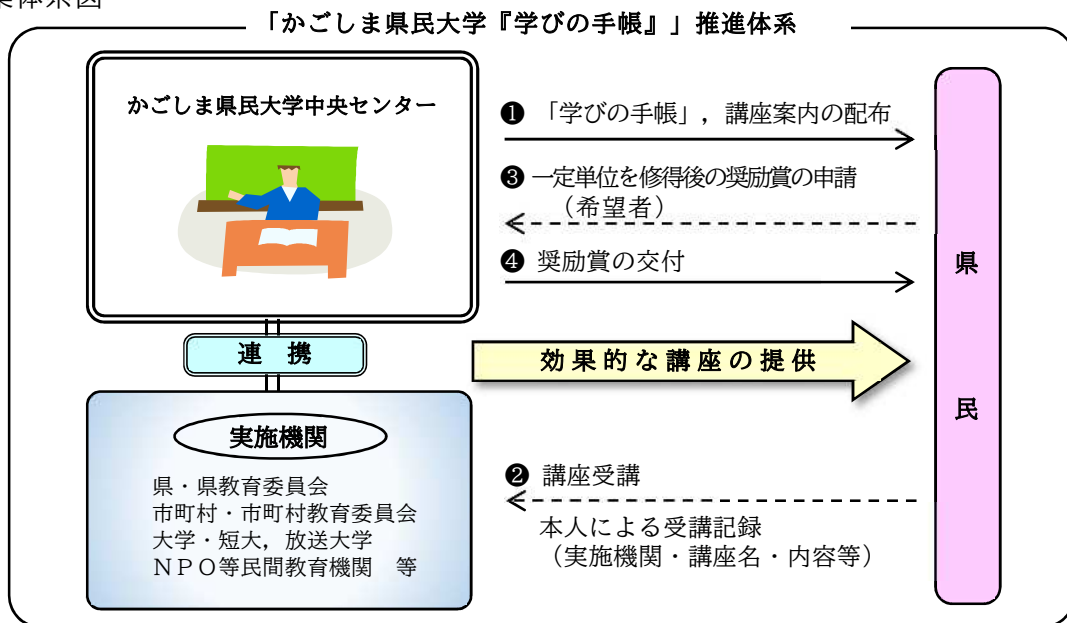
(7) 奨励賞の交付

県，市町村，大学等教育機関など様々な機関等で行われる講座や研修会等を受講し、「学びの手帳」巻末の「奨励賞申請書」に必要事項を記入して中央センターに申請した方には、40単位ごとに奨励賞（賞状）を交付する。

(4) 生涯学習講座情報の案内

県や市町村等が主催する生涯学習講座情報等を集約し、中央センター発行の「講座案内」（※）や「ホームページ」で紹介する。（※）参照「Ⅲ-3 学習情報の集約・提供」

(2) 事業体系図



6 生涯学習相談窓口

(1) 趣旨

県民の生涯学習講座の開設状況や講座内容，学習サークルの育成・支援に関する内容等，生涯学習に関する相談に対応する窓口を設置している。

(2) 方法

電話相談及び来所相談（交流センターの開館日の午前8時30分から午後5時15分まで）

(3) 場所

交流センター2階事務室

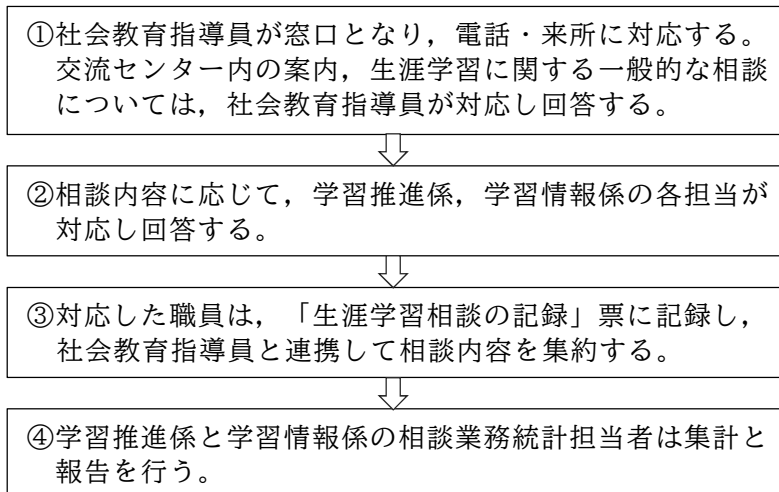
(4) 対応職員

中央センターの社会教育指導員，社会教育主事及び指導主事

(5) 内容

「学習施設に関すること」，「指導者に関すること」，「学習機会に関すること」，「学習プログラムに関すること」，「団体・グループに関すること」，「その他」の6つに分類して相談数等を集計している。

ア 相談業務の流れ



イ 相談件数

相談内容	来所	電話	計	割合(%)
学習施設 に関すること	0	12	12	2.1
指導者 に関すること	2	126	128	22.1
学習機会 に関すること	5	124	129	22.3
学習プログラム に関すること	1	51	52	9
団体・グループ に関すること	0	0	0	0
その他	4	254	258	44.5
計	12	567	579	100.0

※割合の小計は小数第2位を四捨五入しているため合計の100%と一致していません。

IV 調査・研究

1 かがしま県民大学中央センター大学等連携懇談会

(1) 概要

大学等（高等教育機関）の知の財産を活用したさらなる生涯学習の振興を図るために、県内の大学等に呼びかけて、かがしま県民大学中央センター大学等連携懇談会（以下「懇談会」という。）を開催し、県と大学等の共催による講座等の開催や、本センター主催事業への参画などについて幅広く情報交換を行う。

(2) 事業内容

ア 目的

大学等がもつ知の財産を県の事業に反映していく。

- (7) 大学等がもつ専門的な知識や研究の成果等を県民に還元する講座等を提供する。
- (1) 大学等がもつ調査・研究力を県の事業に反映させ事業の改善・充実に生かす。
- (7) 大学等が行政に期待する事項等を把握することで相互にメリットのある連携を模索する。
- (エ) 永続的なネットワークの仕組みを構築する。（大学コンソーシアム等）

イ 内容

- (7) 懇談会開催のための企画部会の開催と事業計画の作成
- (1) 懇談会は、県内国公立大学，私立大学，高等専門学校など，県内の大学等に幅広く参加を呼び掛ける。

(3) 企画部会

ア 日時

令和4年11月4日（金）12：00～13：30

イ 場所

かがしま県民交流センター ICT大研修室（西棟5階）【オンライン】

ウ 参加者

鹿児島大学法文学部法経社会学科（高等教育研究開発センター生涯学習部門）

・小栗 有子 准教授 ・酒井 佑輔 准教授

鹿児島大学法文学部法経社会学科

・金子 満 准教授 ・農中 至 准教授

かがしま県民大学中央センター（学習推進係長，社会教育主事兼専門員2名）3名

エ 内容

- (7) 懇談会の概要等について
- (1) 懇談会のテーマ及び内容について
- (7) 懇談会の参加者について
- (エ) 開催日時について懇談会のテーマについて

(4) 懇談会

ア 日時

令和5年2月15日（水）10：00～11：50

イ 場所

かがしま県民交流センター ICT大研修室（西棟5階）



懇談会(全体会)の様子

ウ 参加者

鹿児島大学法文学部法経社会学科（高等教育研究開発センター生涯学習部門）	小栗 有子	准教授
鹿児島大学法文学部法経社会学科（高等教育研究開発センター生涯学習部門）	酒井 佑輔	准教授
鹿児島大学法文学部法経社会学科	金子 満	准教授
鹿児島大学法文学部法経社会学科	農中 至	准教授
鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系	北村 尚浩	教授
第一工科大学工学部自然環境工学科（社会・地域連携センター長）	本田 泰寛	教授
第一工科大学社会・地域連携センター	末重 美穂	氏
鹿児島純心女子短期大学生活学科（江角学びの交流センター長）	河野 一典	教授
かごしま県民大学中央センター所長	下屋敷由貴子	外8名

エ テーマ

本県の生涯学習推進のための、生涯学習推進センター(中央センター)と高等教育研究機関としての大学等の持続可能な協力体制のあり方と具体的な方策
～市町村の地域課題把握や課題解決に向けた継続的取組に対する中央センターと大学等の支援の実際～

オ 内容

- ・ 中央センターの現状報告
- ・ 大学の生涯学習部門における市町村への支援・市町村との連携・協働の現状報告
- ・ 本県の生涯学習推進における課題に対する協議

カ 主な意見

(7) 課題①

「自治体の生涯学習の推進を図るために、中央センターと大学等は何ができるか。」

- ・ 大学と中央センターとの連携が重要である。
- ・ 各自治体の社会教育・生涯学習の担当者が大学の講座を受けられるとよい。
- ・ 各自治体が、必要な人材を求めていくように中央センターが導いていく。
- ・ 大学、短大等にはそれぞれ得意分野がある。大学間の壁を取り払うことが重要。
- ・ 自治体の課題を把握することと、人材育成を図ることが必要である。
- ・ 各自治体が話し合いや意見交換を通し、互いに支え合うことが重要。各地区内で話し合いや学び合いができれば各自治体の意識の高揚につながり、中央センターの必要性が高まる。

(1) 課題②

「大学等と持続可能な実務レベルでの連携体制をどのように構築すればよいか。」

- ・ 中央センターをハブとして各大学を結んでいきたい。
- ・ 各大学にある情報をまとめてつなげていく場があればよい。中央センターが中心になり、大学の先生間を結ぶ役割を中央センターにやってもらいたい(オンライン会議や公文なしでつながる等)。
- ・ メールもCCで送信してくれるとよい。グループメールでもよい。

(4) 課題③

「自治体が地域課題を解決するために、中央センターと大学等は何ができるか。」

- ・ 住民と行政・大学等とではニーズが違う。違ってもよいが、そこがわかっていないといけない。
- ・ いろいろとアンケートしているが、一本化してニーズを見える化できるとよい。
- ・ 自治体を中心となり、大学が住民を対象とした調査を行い、自治体の取組に反映している。
- ・ 自治体の課題が担当者の主観となっている。本質的課題をどうとらえるかが大事である。
- ・ 中央センターが自治体と大学の橋渡しの役割ができればよい。

2 生涯学習に関する調査・研究

(1) 学習ニーズ調査

ア 目的

令和4年度「生涯学習県民大学講座」及び「かごしま県民大学連携講座『とことんまなぶ一講座』」の受講者を対象に調査をし、今後の本県における生涯学習を推進するための基礎資料とする。

イ 対象

「生涯学習県民大学講座」及び「かごしま県民大学連携講座『とことんまなぶ一講座』」の受講者1565人

ウ 調査方法

アンケート法

エ 調査の時期

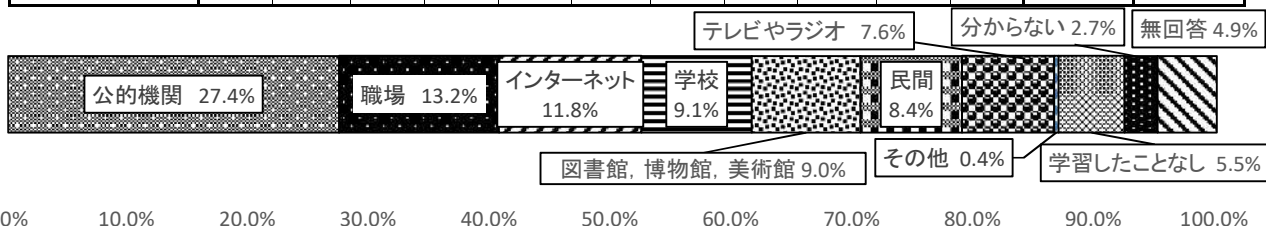
令和4年6月～令和5年2月

オ 調査結果

(ア) 過去1年間の学習場所・形態

(複数回答, 単位: 人)

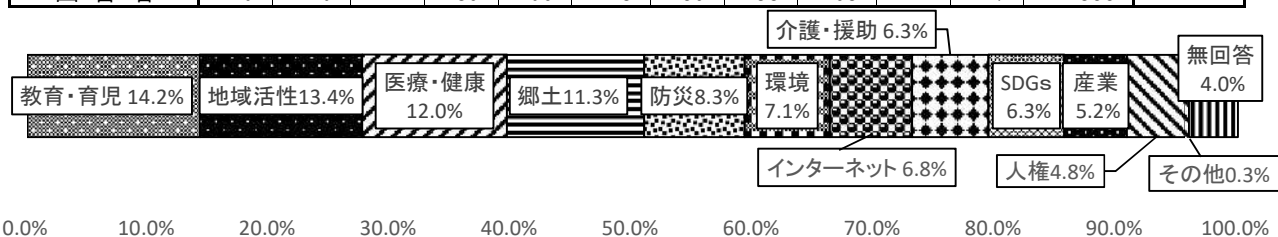
場所・形態	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
公的機関		0	0	4	16	48	49	104	113	45	1	1	381	27.4%
職場		0	0	5	29	78	55	14	3	0	0	0	184	13.2%
インターネット		0	0	3	27	53	37	26	16	2	0	0	164	11.8%
学校		0	0	4	10	38	36	22	12	4	0	1	127	9.1%
図書館, 博物館, 美術館		0	0	0	4	23	14	38	36	9	0	1	125	9.0%
民間		0	0	1	12	25	12	34	23	10	0	0	117	8.4%
テレビやラジオ		0	0	0	6	20	19	24	26	11	0	0	106	7.6%
その他		0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	0	5	0.4%
学習したことなし		0	0	4	20	23	7	8	12	2	0	0	76	5.5%
分からない		0	0	2	4	9	4	6	9	0	0	4	38	2.7%
無回答		0	0	0	1	16	6	19	16	9	0	1	68	4.9%
合計(延べ)		0	0	23	129	334	240	295	267	94	1	8	1,391	100.0%
回答者実人数		0	0	14	89	206	128	159	188	63	1	7	855	



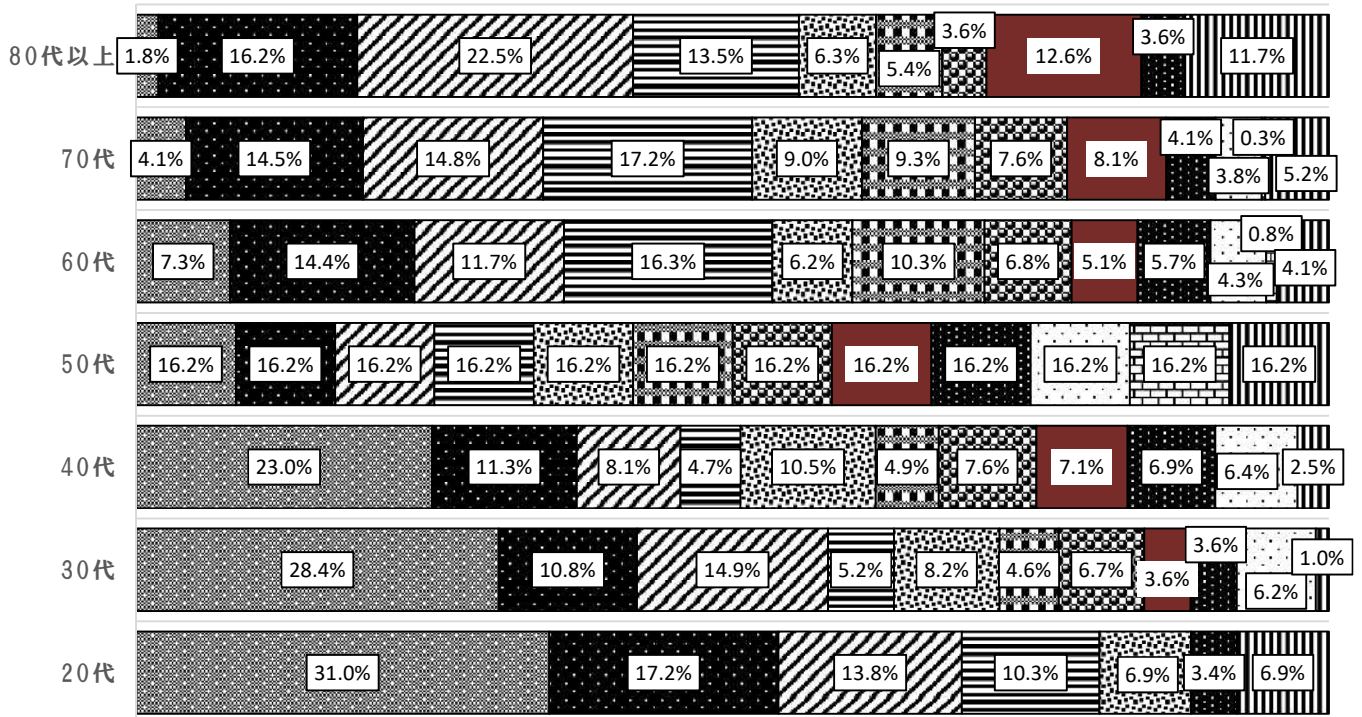
(イ) 受講したいテーマ

(複数回答, 単位: 人)

テーマ	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
教育・育児		0	0	9	55	94	47	27	14	2	0	2	250	14.2%
地域活性		0	0	5	21	46	43	53	50	18	0	0	236	13.4%
医療・健康		0	0	4	29	33	23	43	51	24	1	2	210	12.0%
郷土		0	0	3	10	19	32	60	59	15	0	1	199	11.3%
防災		0	0	2	16	43	23	23	31	6	1	1	146	8.3%
環境		0	0	0	9	20	19	38	32	6	0	0	124	7.1%
インターネット		0	0	0	13	31	20	25	26	4	0	0	119	6.8%
介護・援助		0	0	0	7	29	13	19	28	13	1	1	111	6.3%
SDGs		0	0	3	13	29	28	26	7	3	0	1	110	6.3%
産業		0	0	1	7	28	16	21	14	4	0	0	91	5.2%
人権		0	0	0	12	26	18	16	13	0	0	0	85	4.8%
その他		0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	5	0.3%
無回答		0	0	2	2	10	8	15	18	13	0	3	71	4.0%
合計(延べ)		0	0	29	194	408	291	369	344	108	3	11	1,757	100.0%
回答者		0	0	14	89	206	128	159	188	63	1	7	855	



■教育・育児 ■地域活性 ■医療・健康 ■郷土 ■防災 ■環境 ■インターネット ■介護・援助 ■産業 ■人権 ■その他 ■無回答

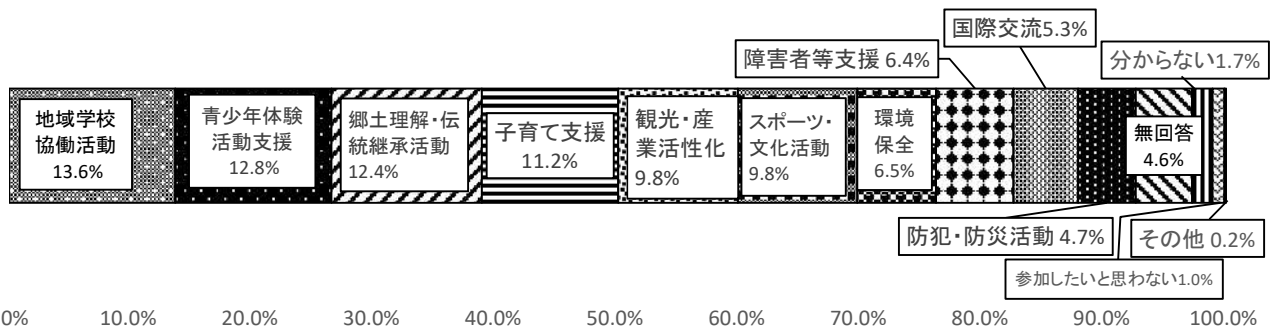


- ・地域活性と医療・健康については、どの世代でも比較的関心を持っていることがわかる。
- ・50代までの各世代において、教育・育児への関心が10%を超え、子育て世代の関心が高いことがわかる。
- ・郷土に関して、高齢者ほど関心が高いことが分かる。

(ウ) 受講後に参加したい活動

(複数回答, 単位: 人)

活動	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
地域学校協働活動		0	0	4	34	71	61	42	32	8	0	1	253	13.6%
青少年体験活動支援		0	0	2	41	75	40	39	33	8	0	0	238	12.8%
郷土理解・伝統継承活動		0	0	4	12	36	33	59	65	20	0	0	229	12.4%
子育て支援		0	0	8	38	73	32	31	21	3	0	2	208	11.2%
観光・産業活性化		0	0	5	22	37	30	37	41	9	0	1	182	9.8%
スポーツ・文化活動		0	0	4	20	49	24	33	45	7	0	0	182	9.8%
環境保全		0	0	4	3	11	27	33	31	11	0	0	120	6.5%
障害者等支援		0	0	2	7	23	21	31	26	7	0	1	118	6.4%
国際交流		0	0	1	17	15	22	26	16	1	0	0	98	5.3%
防犯・防災活動		0	0	0	13	23	16	13	19	4	0	0	88	4.7%
その他		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3	0.2%
参加したいと思わない		0	0	0	2	5	0	3	3	5	0	0	18	1.0%
分からない		0	0	1	6	10	3	3	4	3	0	1	31	1.7%
無回答		0	0	0	2	13	8	21	18	21	1	2	86	4.6%
合計(延べ)		0	0	35	217	441	317	371	355	108	1	9	1,854	100.0%
回答者		0	0	14	89	206	128	159	188	63	1	7	855	



(2) 生涯学習に関する調査

ア 目的

生涯学習に関する県内の推進状況を調査することにより、事業の運営に生かすとともに、生涯学習環境の充実を図る。

イ 対象

大学・短大・高等専門学校（12）

ウ 調査方法

調査票

エ 調査の時期

令和4年3月～6月

オ 調査結果

(ア) 大学・短大・高等専門学校の令和3年度の事業等

講座等開設機関等		講座数	計	受講者数	計	社会人の受入状況			
						特別試験等入学者数		聴講・研究生等受入者数	
大学・短大等の公開講座	鹿児島大学	28	116	628	8,144	0	265	34	554
	鹿屋体育大学	13		327		7		4	
	鹿児島国際大学	4		5,742		11		5	
	第一工科大学	9		132		0		8	
	志学館大学	7		161		0		13	
	鹿児島純心女子大学	9		188		0		7	
	放送大学鹿児島学習センター	7		213		219		466	
	鹿児島県立短期大学	1		155		4		2	
	第一幼児教育短期大学	6		56		0		1	
	鹿児島女子短期大学	7		78		24		11	
	鹿児島純心女子短期大学	17		316		0		3	
	鹿児島工業高等専門学校	8		148		0		0	

(イ) 市町村における他機関との連携事業の実施状況

1	学校等（幼・保・小・中・高・専修学校・大学等）と連携して開設する生涯学習事業	31市	3町	1村	35件
2	企業等と連携して開設する生涯学習事業	35市	3町	2村	40件
3	民間教育機関(NPO法人, カルチャーセンター等)と連携して開設する生涯学習事業	8市	4町	0村	12件
4	他市町村と連携して開設する生涯学習事業	8市	2町	0村	10件

※ R3年度 社会教育・生涯学習現状調査から

V その他

1 視聴覚サービス

(1) 趣旨

ア 中央センターに設置された県視聴覚ライブラリーの円滑な運用を図り、学校教育や社会教育等における視聴覚教材の活用を促進する。

イ 学校教育及び社会教育の学習活動に役立つ映像教材を整備し、地域視聴覚ライブラリー、市町村、県立学校、関係機関・団体等に教材を貸し出す。



県視聴覚ライブラリー

(2) 概要

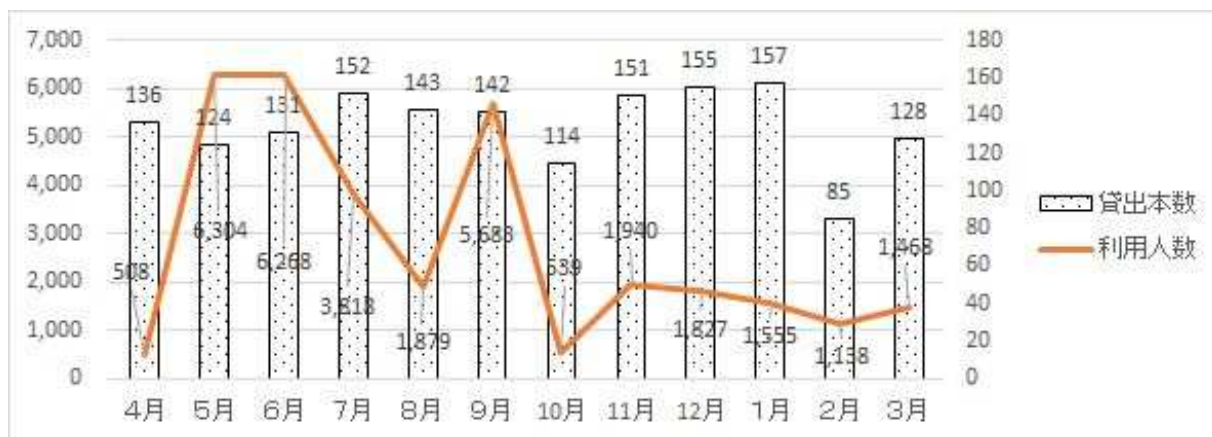
ア 視聴覚ライブラリーは、映像教材を活用し、より分かりやすく具体的な学習や研修を行うための支援をしている。

イ 貸出権・上映権付きのDVD・ビデオ・16ミリフィルム等映像教材を、営利を目的としないこと等を条件に、学校教育・社会教育等の関係機関・団体に貸し出している。

県視聴覚ライブラリー所有教材数（令和5年3月末現在）

メディア種別	所有本数	メディア種別	所有本数
ビデオ・DVD	2,951本	16ミリフィルム	1,326本

(3) 令和4年度の視聴覚教材利用状況



(4) 教材活用促進のための取組

中央センターホームページ上に「最新映像教材一覧」と「よく利用される教材一覧（ジャンルごと）」を掲載している。また、メディア研修講座において、教材貸出手続等や借用及び返却手順の手順について講義したり、実際に視聴覚教材予約システムを使って説明したりするなどしている。

令和4年度 かごしまの生涯学習
(かごしま県民大学中央センター事業報告書19)

令和5年4月発行

編集・発行 鹿児島県教育庁 かごしま県民大学中央センター

住所 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター内)

生涯学習課 学習推進係 TEL 099-221-6604 FAX 099-221-6640

生涯学習課 学習情報係 TEL 099-221-6606 FAX 099-221-6640

E-mail kenmindaigaku@pref.kagoshima.lg.jp(共通)



